

南相馬市 地震・津波等ハザードマップ

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもので、予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲及び被害程度、さらには避難経路、避難所などの情報を地図上に図示したものです。

洪水ハザードマップについて

- 洪水ハザードマップは、南相馬市内を流れる二級河川や準用河川がはん濫した場合、浸水被害の発生が予測される地域と、大雨により土砂災害が発生する可能性がある地点を記載したものです。
- 浸水想定区域は、水防法に基づき、福島県が平成17年度から平成19年度に河川別に発生する大雨を想定して、シミュレーションにより求めたものです。
- なお、このシミュレーションでは、着色していない河川のはん濫や、想定を超える降雨量、高潮などによるはん濫は考慮されていません。
- 浸水が想定されていない区域においても浸水が発生する場合、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 洪水ハザードマップは前回配布（平成21年3月）したハザードマップに、東日本大震災による被災状況を反映して浸水範囲を追加しています。

土砂災害に注意しましょう！

大雨により、浸み込んだ水で地盤が緩み土石流やがけ崩れなどの土砂災害を誘発します。大雨の時や雨が上がった後には、がけには近づかないようにください。

大雨で土砂災害の危険性が高まると、福島県と気象庁から土砂災害警戒情報が発表されます。「土砂災害危険箇所」の面上、又は直下にお住まいの方は、斜面でおこる前ぶれに注意し、早めの避難を心がけてください。

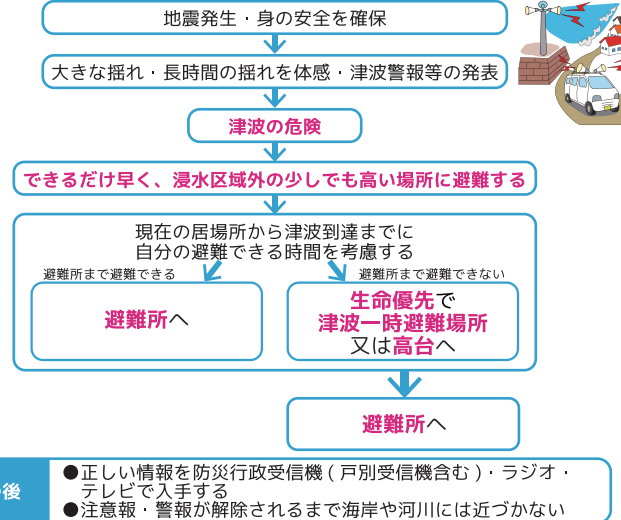
●こんな前ぶれに注意●

- 地鳴り・山鳴りがする
- バラバラと小石が落ちてくる
- 川の水が濁る
- 立木の根が音や石がぶつかり合う音がする
- がけや斜面から水が噴き出す
- がけにひび割れができる

津波ハザードマップについて

- 津波ハザードマップは、津波による浸水区域を4つの浸水深区分で示しています。
- 津波ハザードマップは、東日本大震災後の状況を反映してシミュレーションを行っています。
- 想定している地震は東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)としています。
- 津波到達時の潮位は満潮位としています。
- 浸水想定区域は平成26年3月時点で防潮堤復旧工事が完了していないため、防潮堤はないものとして、シミュレーションにより求めたものです。
- 地盤の高さは東日本大震災で沈下したため震災前より30cm下げた解析しています。
- 地震の震源位置や地震の規模によって想定される浸水区域や水深が異なる場合があります。
- 津波ハザードマップは防潮堤復旧工事が完了後に見直す予定です。

地震・津波からの避難行動



避難所と区分

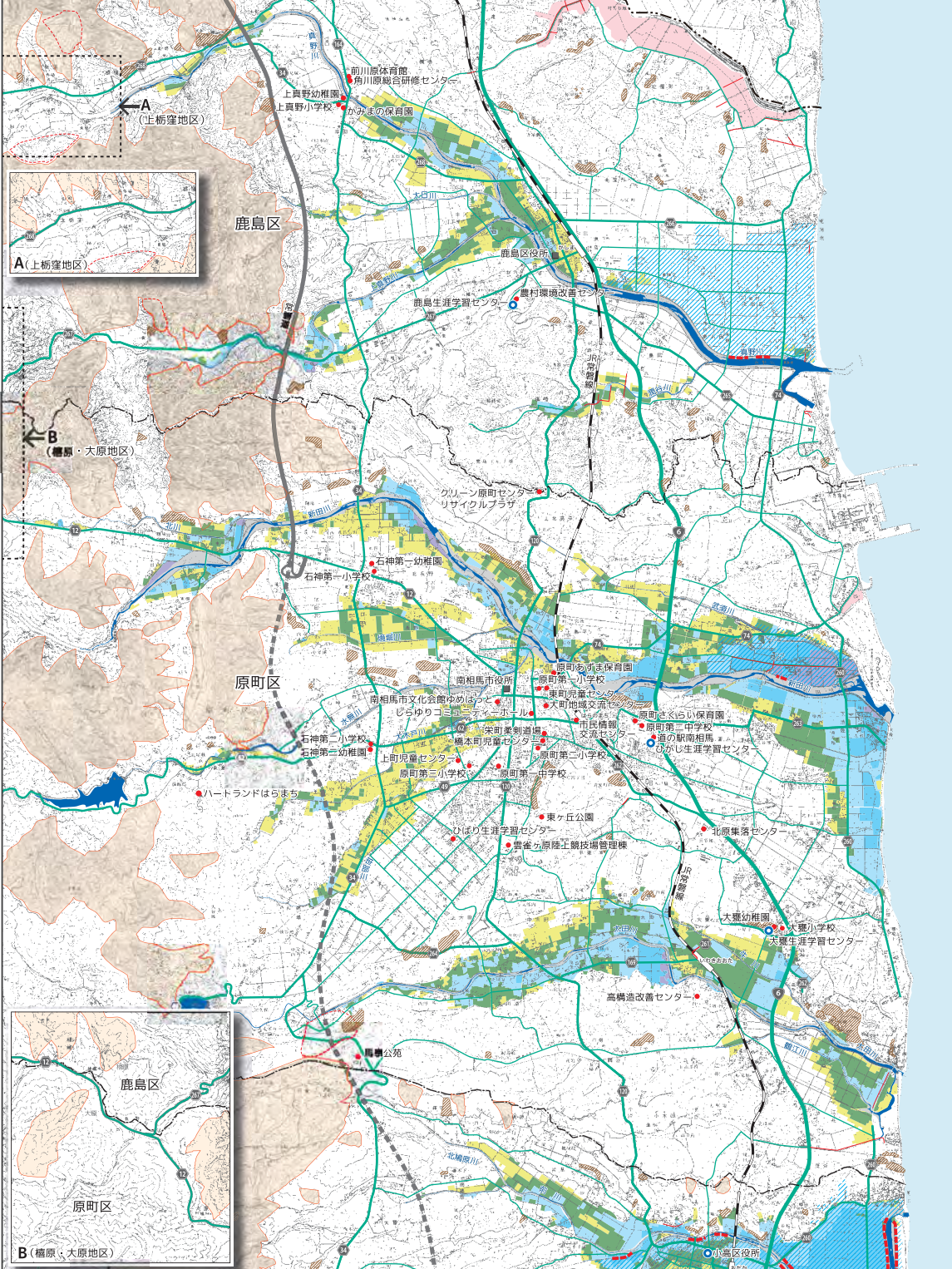
	避難所	南相馬市からの避難勧告及び避難指示の発令により開設する施設
	津波一時避難場所	津波発生時に時間的な都合等で避難所まで避難できない場合など、一時的に身を守るために避難する場所
	先行開設避難所	避難所のうち、南相馬市が避難勧告・避難指示を発令する前に自主的に避難される方に対応するため、状況に応じて開設する避難所

避難の心得

- 高い場所へ避難！
避難所まで遠い場合や、到達時間が短い場合は、近く少しでも高い場所や津波一時避難場所に避難しよう。
- 津波は前後左右から押し寄せる！
津波は海面だけでなく、地形によって、前後左右から押し寄せてくることもあります。
- 津波は繰り返し押し寄せる！
津波は繰り返し押し寄せてくるので、注意報・警報が解除されるまで、決して自宅に戻らないなど、家族との避難とりかめを行ってください。
- 海岸・河川に近づかない！
注意報・警報が解除されるまでは、海岸はもとより河川にも近づかない。
- 一度避難したら戻らない！
「一度避難したら、注意報・警報が解除されるまで、決して自宅に戻らないなど、家族との避難とりかめを行ってください。」

洪水浸水等想定マップ（平成26年3月時点）

※平成26年3月末時点の堤防による洪水浸水想定区域です
※浸水想定区域は目安であり実際の区域と異なる場合があります

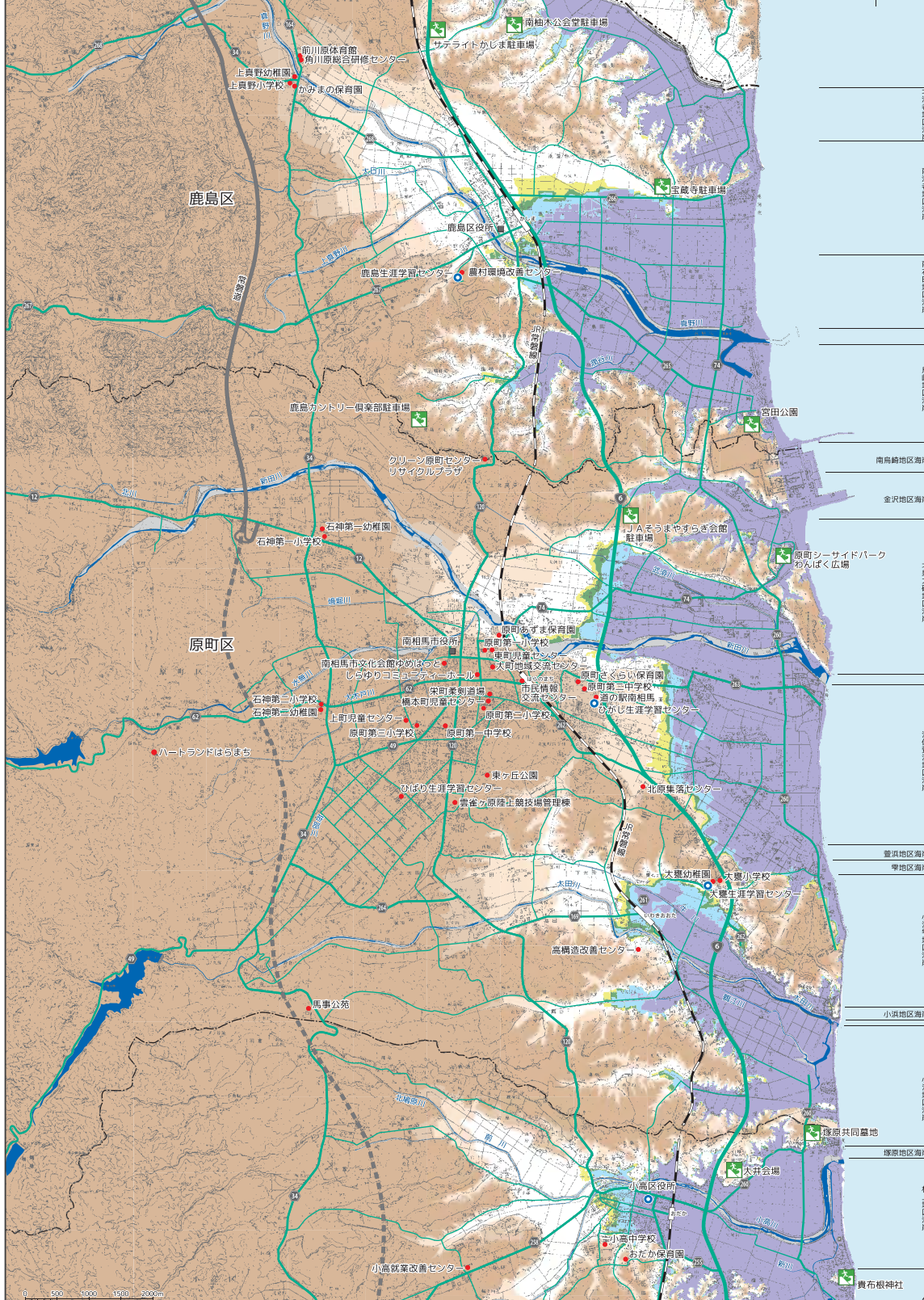


凡例	
	避難所
	先行開設避難所
	土砂災害危険箇所
	土石流の危険がある箇所
	地すべりの危険がある箇所
	急傾斜地崩壊の危険がある箇所
	浸水想定区域(浸水深)
	0.5m未満
	0.5～1.0m未満
	1.0～2.0m未満
	2.0～3.0m未満
	3.0m以上
	水面
	水はけ不良による浸水想定区域
	被災堤防未復旧区間
	堤防未復旧による浸水区域
	大雨のときに通行止めとなる恐れがある道路区間
	道路
	高速道路
	国道
	主要道路
	0～
	0.5m未満

浸水深凡例	
8.0m以上	高い高台へ避難してください。避難コンクリートの建物は、敷高コンクリートの建物が4階以上の高さへ避難が必要です。
4.0～	2階下、またはそれ以上まで、敷高コンクリートの建物、3階以上の高さへ避難が必要です。
3.0m未満	1階下までかかる高さ、鉄筋コンクリートの建物、2階以上の高さへ避難が必要です。
2.0～	敷高コンクリートの建物、2階以上の高さへ避難が必要です。
1.0～	敷高コンクリートの建物、2階以上の高さへ避難が必要です。
0.5～	敷高コンクリートの建物、2階以上の高さへ避難が必要です。
1.0m未満	足指、または膝までかかる高さ、自由が奪われ、歩く速さが遅くなります。
0.5m未満	足指、または膝までかかる高さ、自由が奪われ、歩く速さが遅くなります。

津波浸水想定マップ（平成26年3月時点）

※平成26年3月末時点の防潮堤による津波浸水想定区域です
※浸水想定区域は目安であり地震の震源や規模により実際の区域とは異なる場合があります



凡例	
	避難所
	津波一時避難場所
	先行開設避難所
	浸水想定区域(浸水深)
	0.0～0.5m未満
	0.5～1.0m未満
	1.0～2.0m未満
	2.0m以上
	標高 15m
	標高 20m
	標高 25m
	高速道路
	国道
	主要道路
	その他の道路

